

## 2022 年度:こども園自己評価の報告書 てらうちこども園

評価項目	取り組み状況
<p style="text-align: center;"><b>教育・保育方針</b>  <b>教育及び保育の目標</b>  <b>全体計画・指導計画</b>  <b>こども園として特に配慮すべき事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育・保育課程</li> <li>・教育環境の整備</li> <li>・研究の取り組み 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「豊かな感性と表現～子ども一人一人が主体性を発揮して、活動を展開していくことができる環境づくり～」を研究テーマに、自分の考え・思いを伝え、相手の考え・思いを知り折り合いをつけていくことを意識し、自分の気持ちに気付くことやその気持ちの表現の仕方を朝の会や一日の振り返りで体験する。また、友達が伝えようとしていることを受け止めていく大切さを知っていく。話をしやすい環境（集中できる、視覚で内容を確認、発言者の顔が見えるなど）を検討し整備してきた。</li> </ul>
<b>健康支援</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の保健指導では、体の仕組みや感染症予防について伝え、健康な生活を自らが意識する取り組みを進めてきた。外気温を確認しながら年間を通して、屋外でしっかり体を動かして遊ぶ経験を重ね基礎体力をつけてきた。登園時や部屋移動時の手洗いは継続して行っている。</li> </ul>
<b>安全管理</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝、園児の実数と出席簿・欠席連絡を突合せ、子どもの所在を確認。また、部屋など移動時も人数確認を行いながら職員同士の連携を密にする。火災や地震、不審者侵入を想定した避難訓練を毎月行っているが、マニュアルを意識しつつも、臨機に対応できるよう設定する。警察官による交通安全教室をオンラインで実施することで、園外に出る際には、手を挙げる、安全確認をするなど交通ルールを意識する姿が見られる。</li> </ul>
<b>食育の推進</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・料理の名前や食材を知り食に関心が持てるように給食の献立名を読み上げる。季節の野菜等を栽培し、苗から収穫までの生長を観察。変化に気付き発見や喜びに繋がっている。収穫した野菜でクッキングを実施。カレー・大根煮を作り食する。1/17には、地震を想定した避難訓練の後に菜園の大根を使いかまど・薪でみそ汁をつくり、ガス・電気が止まっても調理ができることを知る。</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>子育て支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入園している子どもの保護者</li> <li>・地域の子育て家庭</li> <li>・地域との連携 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は一学期と三学期にクラス懇談会を開催する。2回目は初めて夜間に開催する。運動会を三学年一斉にする。他の学年を見てもらうことができ、成長の喜びや確認、見通しが持てたとの感想があった。毎日2時から園庭開放を行っている。1号認定園児が、保育で経験した鬼ごっこを保護者と一緒に楽しんでいる姿がある。</li> <li>・園開放「のびっこひろば」の認知度が高まり、毎週多くの親子が遊びに来ている。年齢別の行事も参加人数が増えた。園児の合奏やパラバルーンを披露し、交流することができた。</li> <li>・アグリ農園からミニトマトの収穫に招待され、年長クラスが校区福祉委員会の方と交流しながら収穫を体験する。</li> <li>・今年度も服部緑地都市緑化植物園のコラボ企画「木の枝を使ったサンタづくり」に年長児が参加する。</li> </ul>
<b>教育・保育内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者との安心できる関係を築き、活動場所・活動内容を広げていった。初めてのこと、苦手なことも保育者、友達との信頼関係から挑戦する意欲をもち、何回も実践・成功することで自信をつけてきた。</li> <li>・自分なりの表現方法で、自分の感じたこと、思っていることを相手に伝えていくことを各学年のねらいに組み込み、丁寧に実践を行ってきた。気持ちを伝えていくことで相手にわかってもらえる、相手の気持ちもわかるという体験ができ、年齢なりの折り合いをつけることができてきている。</li> <li>・1年間の取り組みと「育ってほしい10の姿」を照らし合わせながら全体の評価をする。意識的に取り組まないと抜け落ちる項目や異年齢の活動の中でより育っていく項目があるなどがわかり、次年度の教育保育計画作成時の課題となる。</li> </ul>

特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども理解や手立て・支援の方法に関する研修に参加し、支援の考え方や手法を学び、実践に生かしている。一人一人の子ども理解を深め、生活や遊びの中で友達とのかかわりが豊かに広がり、ともに育ちあう教育保育を実践した。</li> <li>支援学校の巡回指導を受け、個々の対応方法を学び、実践していくことで、困り感を持っていた子どもも落ち着いて活動することができるようになってきた。</li> </ul>
職員の資質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究テーマに沿った講師を招聘し園内研修を行う。身体のバランスを意識した遊びや楽器などを使っての音あそびについて実践を交えながら教えてもらい、保育者自身が楽しむこと、わくわくすることの大切さを実感する。普段から子どもの姿やクラスでの活動を職員同士が伝えあうことが保育の振り返りになり、次の保育に反映させている。</li> <li>教育保育の総括を「育ってほしい10の姿」の視点から評価・分析を行い、てらうちこども園の強み・弱みを見極め、次年度の保育に反映していく。</li> </ul>
幼保こ小中の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼保こ小連絡会で、校区ごとの特徴を伝えるとともに引継ぎの在り方、方法についても意見交換を行う。1年生との交流会を2校同日に行う。</li> <li>年長児が小学校に出向き、かけっこの見本を見せてもらい園児たちの走りの参考となった。グラウンドで凧揚げをさせてもらう。</li> </ul>
関係者評価の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>評議員会を「七夕のつどい」「生活発表会交歓会」に設定し、子どもたちの活動や生活を見てもらい、意見・感想をいただいた。園の自己評価を提示し、一年間の活動報告を行い、職場環境をソフト・ハード面から整えることも資質向上の一部になるのではとの意見をいただく。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが安心して生活・活動する中で、様々な経験を積み重ねていくことができるよう、関係機関との連携を図り、子どもにとって最善の方法を検討、実践する。</li> </ul>

○今後取り組むべき課題（重点的に取り組むべき課題）

課 題	具体的な取り組み方法
改修工事が行われるため様々な場面で不安を感じる事が予想される。 子ども・保護者共に安心してこども園生活が送れるような取り組みの検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事期間中も子どもたちが豊かな経験をすることができるよう園内・外を利用・工夫して教育保育を展開する。</li> <li>状況を把握しながら生活が送れるように、都度都度に情報の発信を行う。</li> </ul>
職員の資質の向上	リニューアル後に開始する乳児保育に備え、乳児期の子ども理解、育ち、生活習慣等を学ぶ。また、幼児期の子ども理解につなげていく。

令和5年（2023年）3月31日

豊中市立てらうちこども園

園長名 大石 智子